

「小腸人工肛門造設患児に対して肛門側腸管への便注入による栄養管理を行った経験」に関する臨床データの研究利用についてのお願い

#### 研究の概要・背景

低出生体重児の消化管穿孔などに対して、小腸人工肛門造設術を行うことがあるが、時に管理に難渋することがある。当科では、小腸人工肛門造設術後に、肛門側腸管への回収した便などの注入を行っており、その有用性や問題点について検討した。

#### 試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

上記の有用性や問題点について調査するため、対象患者の臨床データや手術所見などについて、診療録から後方視的に検討する。

#### 対象者・期間

対象は、2013～2024年に、当院 NICU に入院し、小腸人工肛門造設術および人工肛門閉鎖術を施行された症例。

研究期間は、2024年の承認から2025年2月（学会発表）とする。

#### データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

#### 【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：小児外科 横田直樹

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)